

事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	荒川遊園管理運営費	部課名	子育て支援部荒川遊園課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	大嶋 豊	内線	473
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	荒川遊園管理費（20-01-01-01）、荒川遊園事業費（20-01-02-01）、荒川遊園営繕費（20-01-03-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	25 年度	根拠	都市公園法	
終期設定	有 無	年度	法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	子育てしやすいまちの形成[03]			
	施策	子育て環境の整備[03-01]			
目的	都内唯一の区立遊園地として、区内外の人々が楽しく利用できる施設を目指した管理・運営を行うとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。				
対象者等	小さなお子様のいるファミリー層を中心に、その他不特定多数の区内外からの来園者				
内容	<p>【荒川遊園の概要】 総面積50,857㎡ A地区...31,482㎡（有料地区 のりもの広場 どうぶつ広場 釣堀 ふれあいハウス 売店2店舗 アリスの広場 水遊びの広場） B地区...5,234㎡（子どもプール） C地区...14,141㎡（地下駐車場） *遊園運動場・スポーツハウスは教員委員会所管）</p> <p>【事業の内容】 遊園地の管理運営 大型遊戯施設（観覧車・豆汽車・ファミリーコースター・スカイサイクル・メリーゴーランド・コーヒーカップ）、小型遊具（30機種）、ふあふあ（くじらスライダー・風船ドーム）、釣堀、どうぶつ広場、下町都電ミニ資料館、売店（キャンディハウス・ちびっこ広場売店）、水あそび広場、アリスの広場 子どもプールの管理運営 開催期間（H23）：7/16（土）～9/4（日）、利用時間：10時～16時、 料金（1日）：大人（高校生以上）350円、中学生以下150円 都市公園の維持管理等 建物・工作物・樹木など公園施設の維持管理、設置管理許可事務、占用許可事務</p>				
経過	昭和61年9月 全面改造工事着手 昭和62年7月 釣堀開場 昭和63年4月 ちびっこ広場、どうぶつ広場、しばふ広場、売店、管理事務所、浄化施設、掘割、倉庫完成 平成元年4月 遊園の管理運営業務をACCに業務受託 6月 どうぶつ広場オープン 平成2年4月 のりもの広場オープン 平成3年2月 クラフトハウス完成 平成3年3月 水遊び広場、白鳥の池完成 平成3年4月 全面オープン 平成3年5月 都電型バス「ドリーム号」運行 平成5年7月 スポーツハウスオープン 平成6年1月 荒川遊園地下駐車場オープン 平成12年12月 水上バス運行開始 平成15年4月 都電6000形（一球さん号）を常設展示 平成15年9月 ギッズランドオープン（子どもプールの営業期間外） 平成16年7月 コーヒーカップリニューアル 平成17年2月 電子マネーサービス開始（平成21年9月30日終了） 平成17年3月 ファミリーコースターリニューアル 平成18年4月 ACCを荒川遊園の指定管理者として指定。 平成18年6月 休園日を月曜日から火曜日に変更。 平成19年4月 都電一日乗車券提示による入園料の割引開始、「家族ふれあいの日」協力施設に参加 平成20年2月 ふあふあ事故発生 平成20年5月 あらかわ遊園見守り隊発足 平成21年9月～平成22年3月 大型遊戯施設安全総点検及び補修工事の実施 平成23年3月 11日、東日本大地震発生。すべての遊具を運行休止、自動販売機の販売中止 平成23年4月 指定管理者制度を廃止し、遊園を子育て支援施設の拠点とするため 子育て支援部荒川遊園課による管理運営開始 平成23年4月 29日～ ファミリーコースター・豆汽車・コーヒーカップ・メリーゴーランドを土・日・祝日のみ運行再開。自動販売機は3分の2を販売再開。 平成23年5月 下町都電ミニ資料館オープン 平成23年7月 2日～ 観覧車・スカイサイクルを土・日・祝日のみ運行再開				

事務事業分析シート（平成23年度）

No2

必要性	荒川遊園は、区の貴重な観光資源の一つであり、その特色を生かし、安全で安心して楽しく利用できる施設を目指すとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 下記業務については委託 (1) 管理費 地下駐車場管理運営委託 24,500千円、 清掃業務委託 12,613千円、 浄化施設維持管理業務委託 9,135千円、 樹木等管理委託 7,911千円、 入園案内業務委託 7,671千円、 子供プール業務委託 3,704千円、 夜間管理業務委託 4,920千円、 廃棄物処理委託 2,442千円 気象情報提供業務委託882千円 売上金回収金釣銭供給業務委託1,134千円 (2) 事業費 遊戯施設運転等業務委託 59,665千円、 遊戯施設保守管理業務委託 14,316千円、 動物飼育業務委託 41,424千円、 釣堀運営業務委託 6,788千円、 キャラクターショー委託 3,264千円

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算額		112,371	90,226	86,791	86,017	89,166	103,304	304,837
決算額（23年度は見込み）		101,419	84,540	85,046	80,357	83,747	103,304	304,837
人件費等		2,586	3,416	3,758	2,675	2,484	3,400	
減価償却費							1,133	
【事務分担量】（%）		30	40	44	33	34	39	
合計（+ +）		104,005	87,956	88,804	83,032	86,231	107,837	304,837
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）		67,558	17,880	17,904	17,904	17,904	19,220	257,730
一般財源		36,447	70,076	70,900	65,128	68,327	88,617	47,107

実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	入園者数（総数[人]）	449,965	421,253	412,814	427,186	429,228	361,464	360,000
	子供プール（人）	20,947	17,167	22,063	19,094	20,498	27,474	27,000
	遊戯施設利用者数（千人）	1,555	1,475	1,323	1,263	1,410	1,185	1,185
	釣堀（人）	33,248	31,940	30,726	30,311	32,156	28,545	28,000

* H17区直営・A C Cに業務委託、H18～H22ACCが指定管理、H23～区直営

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	賃金					賃金	208
	報償費					報償費	2,763
	光熱水費	水道料	97			光熱水費	30,455
	食料費					食料費	181
	一般需用費	消耗品費		消耗品費	2,556	消耗品費	7,241
		印刷製本費		印刷製本費	489	印刷製本費	2,003
		物品修繕費		物品修繕費		物品修繕費	91
		家屋等修繕費	872	家屋等修繕費	280	家屋等修繕費	6,498
	役務費	その他の通信運搬費		その他の通信運搬費	41	役務費	707
	委託料	指定管理者管理運営費	82,479	指定管理者管理運営費	82,479	指定管理者管理運営費	0
		その他の委託料		その他の委託料	4,503	その他の委託料	226,543
	使用料及び賃借料	その他の使用料及び賃借料		その他の使用料及び賃借料	0	その他の使用料及び賃借料	11,089
	原材料費	原材料費		原材料費	100	原材料費	383
	公有財産購入費	公有財産購入費		公有財産購入費		公有財産購入費	14,425
	備品購入費	備品購入費	299	備品購入費	4,517	備品購入費	2,250
	賠償金	賠償金		賠償金	8,339	賠償金	0

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					目標値 (25年度)	指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度			
標	入園者数（人）	427,186	429,228	361,464	360,000	396,000	年間入園者総数	
	遊戯施設利用者数（人）	1,262,811	1,410,212	1,185,986	1,185,000	1,303,000	大型遊具、小型遊具、ふあふあ利用者	
	プール利用者数（人）	19,094	20,498	27,474	27,000	29,000	子供プール利用者	

事務事業分析シート（平成23年度）

No3

問題点・課題 （指標分析）	平成23年度から子育て支援施設の拠点として、事業展開を検討する。 区内の利用者拡大を図る。 大型遊戯施設を含めた遊園全体のリニューアルを検討する時期が到来している。 B地区の子供プール利用期間外の有効利用について検討する必要がある。
他区の実 施状況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討		
	平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	新たな事業展開により、子育て支援施設の拠点として活用していく。	区内利用者の拡大が図れる。
	これまでの契約形態について見直しを行い、効果的・効率的な契約形態に改善していく。	先進的な民間サービスの導入等により利用者サービスの向上が図れる。
	遊園のさらなる魅力及び安全性の向上を図り、バリアフリーを含めた遊園全体のリニューアルについて検討する。	利用者の増加が期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	荒川遊園は、荒川区が誇れる施設として、さらに維持管理や施設の充実を図り、子育て支援施設の拠点として事業展開していく。

議会議 況（要旨） 質問状	【H21 決算特別委員会】 遊園の直営化を図り安全管理を徹底すべき。 【H22 二定】 従事者の雇用条件等を調査すべき。
---------------------	---